

16 広域交通ネットワークの整備促進

提出先 総務省、国土交通省

【提案項目】

- 1 東京五輪とその先を見据えた幹線道路網の整備と活用
- 2 橋梁・トンネル等道路施設の老朽化・防災対策
- 3 鉄道網の整備促進

【提案内容】

- 項目1 (1) 東京オリンピック・パラリンピックの開催を受け、「横浜湘南道路・高速横浜環状南線(圏央道)」、「新東名高速道路」、「厚木秦野道路」及び「高速横浜環状北線・北西線」の早期整備を図ること。また、新東名高速道路の海老名以東の計画の具体化を図ること。
- (2) 高速道路ネットワークを最大限活用するため、東名高速道路等の渋滞対策やスマートICの早期整備を図ること。
- (3) インターチェンジや観光地にアクセスする道路など、幹線道路の整備推進に必要な予算措置を講じること。また、地方創生の拠点となる道の駅の整備を促進できるよう、支援の取組を強化すること。
- 項目2 道路施設の高齢化への対応や、巨大地震等の大規模災害への備えなど、国土の強靱化に向けた取組を推進するため、道路施設の老朽化対策、防災・減災施策に必要な予算措置を講じること。
- 項目3 (1) リニア中央新幹線については、整備を促進するとともに、神奈川県駅(橋本)周辺のまちづくりについても、重点的かつ積極的に地方自治体へ財政支援を講じること。
- (2) 寒川町倉見地区の東海道新幹線新駅や藤沢市村岡地区の東海道線新駅等の実現を図るため、駅舎整備への地元自治体の負担を軽減する制度整備や確実な予算措置を講じること。
- (3) 相鉄いずみ野線の延伸、相模線の複線化、東海道貨物支線の貨客併用化、小田急多摩線の延伸などの、神奈川の拠点づくりを支える鉄道整備について、公的支援を拡大すること。
- 特に、既存路線の延伸などにより、新たな鉄道ネットワークの形成に資する事業については、国による助成制度の拡充を図ることや、新たな支援方策を構築すること。

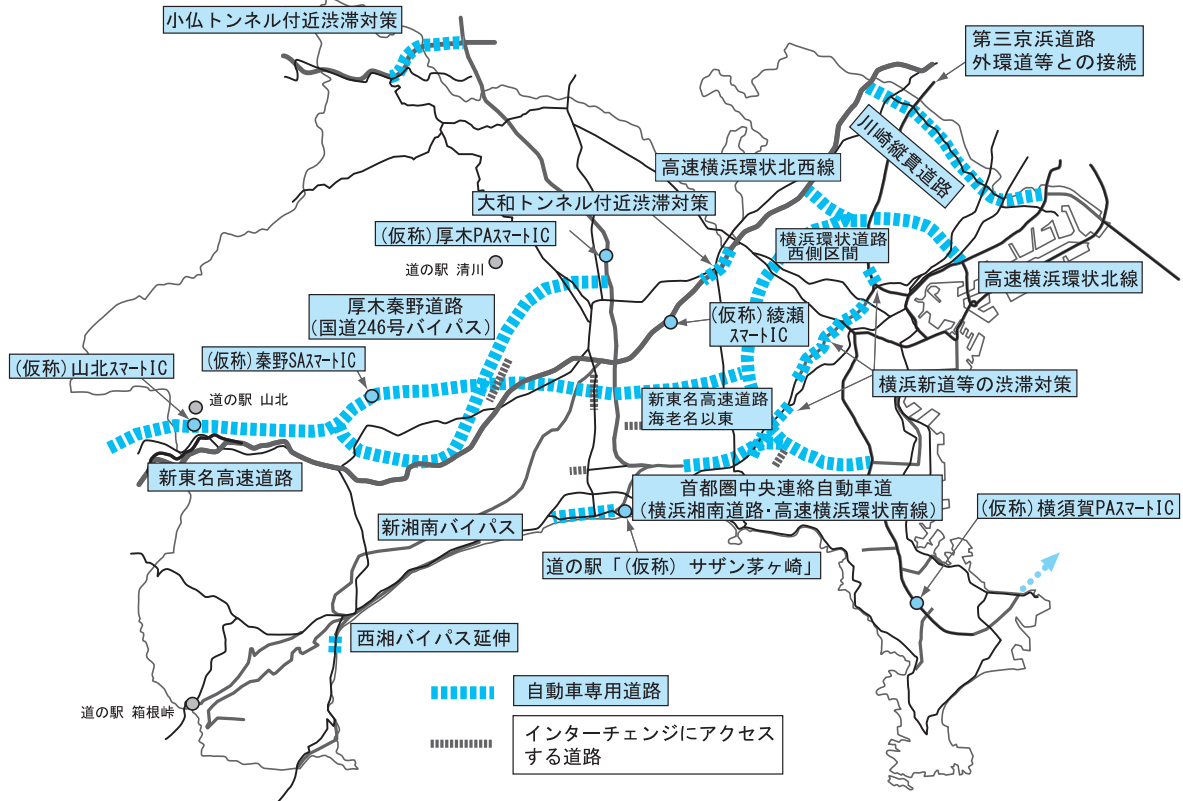
【実現による効果】

神奈川における拠点づくりと、拠点を結ぶ交通ネットワークの形成により、過度な東京都心一極集中、災害リスク、人口減少などの課題を首都圏全体で受け止めるとともに、神奈川から経済のエンジンを回し、首都圏全体の都市機能向上に貢献する。

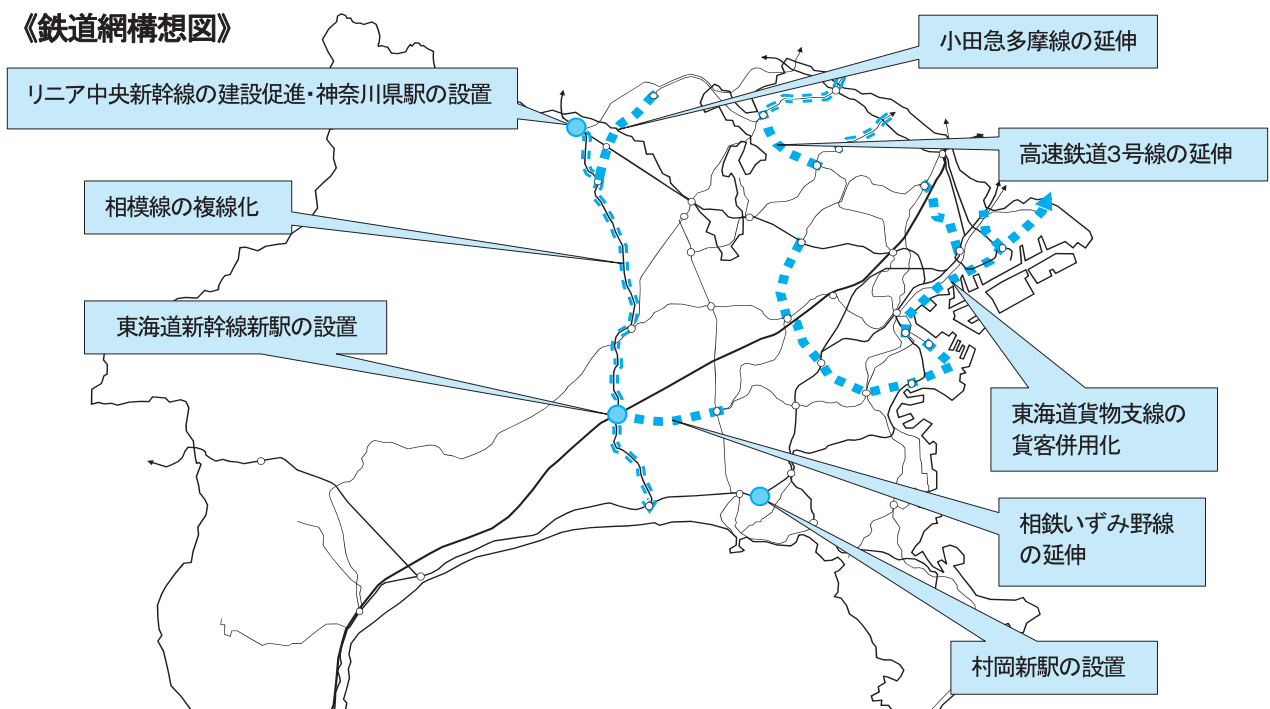
【提案理由】

首都圏機能の一翼を担う本県においては、首都圏の各都市や県内地域間の連携を強化し、あらゆる社会経済活動を支える利便性の高い交通ネットワークを形成することが不可欠である。

《道路網構想図》



《鉄道網構想図》



(神奈川県担当課：県土整備局環境共生都市課、交通企画課、道路企画課、道路管理課)